特集

暮らしの裏側大公開

今月の特集では、普段見られない地下鉄車両基地やプラスチック選別センター、浄水場や水再生プラザの裏側に潜入。私たちの暮らしがどのように支えられているかを考えていきます。

市民の移動を支える
地下鉄 東車両基地

詳細　交通局車両課　☎896-2751

安全な運行のために日々車両を点検

市営地下鉄南北線、東西線、東豊線を合計すると、1日に50万人以上が利用し、その走行距離は約1万6千㎞と、札幌からブラジルまで行ける距離になります。

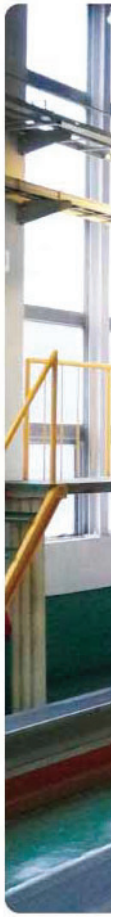
この東車両基地では東西線の車両を管理していて、朝は始発前の5時から、夜は終電後の0時過ぎから車両を点検します。また、運転手から「走行中いつもと違う感じがした」などの連絡があれば、実際に乗車し、必要に応じて予備の車両に振り替えて点検・修理しますよ。

私が紹介！

交通局車両課
いいおか
飯岡さん

安全のための地下鉄の設備！

毎日の安全な運行のために、たくさんの備えがある地下鉄。普段乗っているときには気付きにくいけれど、実は大きな役割を担っている地下鉄の設備を見ていこう。



潜入するのはこの先！

ひばりが丘駅の専用ホームで運転手は車両を下車。車両はそこから1.3km先の車両基地まで、無人自動回送運転で向かいます。

1車両に3つ

非常通報ボタンを各車両に設置

マイクはこちら

車両内に急病の方がいたときや、不審物を見つけたときはボタンを押して大きな声で話してください。

何に使うの!?

前の扉も開きます

開く

はしご

はしごで車外に避難するための非常用扉を先頭と最後尾の車両に設置。停電しても対応できるよう、手動で開くことができます。

雨は降らないのに…

フロントガラスにワイパーがあります

トンネル内は気温の変化により水滴が落ちてくることも。ワイパーを手で動かして、水滴を拭き取っています。

台車は1台
約4t～6t

直径約1m

ゴムタイヤはパンクへの備えも万全

札幌の地下鉄は特注のゴムタイヤを使っていて、振動や騒音が少ないのが特徴です。タイヤの空気圧の低下を自動で見つける装置が線路の数カ所にあり、いち早く異変を察知します。

ごみと資源を分ける

中沼プラスチック選別センター

詳細　環境局施設管理課　☎211-2922

一日にごみ収集車100台分が運ばれる

市内の家庭から排出される容器包装プラスチックは全てこの施設に集まってきます。その量は年間で約3万tに上り、毎日20人のスタッフが手作業により不適物を取り除き梱包してから、最終的にリサイクル事業者に引き渡しています。

選別する物の中には、包丁や注射針といった危険な物が入ってくることもあり、スタッフのけがにつながる恐れもあるので、決して混ぜないようにしてください。

分別のポイントは「プラマーク」

容器包装プラスチックは、食料品や日用品などが入っていたプラスチック製の容器・包装・緩衝材で、中身を取り出したり、使ったりした後に不要となるものです。歯ブラシやバケツなども混ざってきますが、これらは製品プラスチックと呼ばれ、現在、市のごみ分けルールでは燃やせるごみとして分別いただき、処理しています。

分別に迷ったときは、「プラマーク」が付いているかいないかがポイント。マークがあれば容器包装プラスチックなので、これを目印に分別してください。

もっとできるリサイクル

家庭ごみの「燃やせるごみ」には、約8％も容器包装プラスチックが混入しています。これらを正しく分別することで、より多くの資源をリサイクルすることができます。限りある資源や地球環境を大切にしていくためにも、分別にご協力をお願いします。

私が紹介！

大富工業株式会社
中沼プラスチック選別センター職員
柳本（やなぎもと）さん

容器包装プラスチックが製品に生まれ変わるまで

中沼プラスチック選別センター

1日に約120tが到着

1日に約100台がセンターへ

家庭から出る容器包装プラスチック

回転ふるい機で大小2種類に分別

手作業で不適物を取り除く

最後は圧縮梱包

不適物はごみとして処理

燃やせるごみ

燃やせないごみ

※ペットボトルは資源として処理

リサイクル製品に生まれ変わる

5/8(月)から施設見学を再開します

申込 各施設に☎
対象 原則10人以上の団体
場所【清掃工場】
白石清掃工場　白石区東米里2170　☎876-1710
駒岡清掃工場　南区真駒内602　☎582-9733
発寒清掃工場　西区発寒15の14　☎667-5311
【選別施設】
中沼プラスチック選別センター
東区中沼町45　☎790-4450
中沼資源選別センター
東区中沼町45　☎790-3253
駒岡資源選別センター
南区真駒内129　☎588-3753

WEB（ウェブ）工場見学もおすすめ！

びん、缶、ペットボトルの選別の工程を動画で学べます。

資源選別センター WEB工場 | 検索

⚠リチウムイオン電池が使用された家電製品を容器包装プラスチックの日に出さないでください

強い衝撃が加わると発火し、火災につながる恐れがあります。

札幌 家庭ごみの出し方 | 検索

安全・安心な飲み水をつくる

藻岩浄水場

詳細　水道局施設管理課　211-7065

安全・安心な飲み水をつくる

藻岩浄水場では、豊平川の水を取り込んでから、薬品を注入して濁りなどを取り除き、塩素消毒をして安全な水道水にするまでの浄水処理を約5時間かけて行っています。雪解け時期や大雨の際は川の水の濁りが強まることもありますが、薬品の量を調整し、また、においがいつもと異なる場合には活性炭を加えるなどの対応をしています。浄水場では、万が一の故障に備え、薬品を加える設備などを二組ずつ用意しています。

札幌の水はおいしい

札幌市の水源は国立公園や国有林野の中にあり、豊かな自然が水質を良好に保っています。札幌市は降雪量が多く、豊平峡ダム、定山渓ダムという二つの大きなダムがあるため、水不足の心配はほとんどありません。これからも安心して、札幌の水道水をお飲みください。

▼水力発電により得られた電力を藻岩浄水場、水道記念館などで活用

▲安全な水を届けるため、100項目以上の検査を実施

家庭から出た汚水はどこへ行く?

1 家庭から出た汚水が下水道管を通って水再生プラザに運ばれる

2 水再生プラザで水をきれいにする

沈砂池(ちんさち)と沈殿池(ちんでんち)を通り、ごみや砂を沈めます

約100種類の微生物に空気を与えると汚れをきれいにしてくれ、汚れと一緒に沈みます

3 きれいな上澄みを川へ流す

汚水をきれいな水に戻す

創成川水再生プラザ

詳細　下水道河川局処理施設課　818-3431

河川の環境を守ることが使命の一つ

汚水や雨水は下水道管を通って水再生プラザに流れてきます。下水道を通して、私たちは皆さんの快適な暮らしと、海や川の環境を保っています。下水道管の詰まりや悪臭を防ぐため、料理で残った油や水に溶けない紙などは流さないよう、ご協力をお願いします。

▲毎日行う水質検査

水道記念館

水道の仕組みなどを体験型の展示物で学べます。

〈利用案内〉
開館時間　11/15㈬までの9時30分~16時30分
休館日　月曜(祝・休日の場合は翌平日)
所在地　中央区伏見4
入館料　無料
交通機関　市電ロープウェイ入口停留場から徒歩15分
詳細　水道記念館　561-8928

藻岩浄水場見学ツアーも実施中!

時間　平日11時30分~、15時30分~、
祝・休日10時~、11時~、14時~、15時~
※各回30分程度
定員　各回30人(先着)
申込　不要。当日水道記念館へ直接

札幌　水道記念館　検索

※団体の場合は別途お問い合わせください

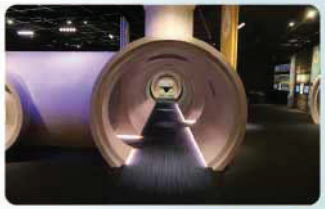
下水道科学館

下水道の仕組みや役割を楽しみながら学べます。

〈利用案内〉
開館時間　9時30分~17時。入館は16時30分まで
休館日　月曜(祝・休日の場合は翌平日)、年末年始。
ただし、6月~8月は休館日なし
所在地　北区麻生町8
入館料　無料
交通機関　地下鉄南北線麻生駅から徒歩15分
詳細　下水道科学館　717-0046

下水道の仕組みを動画でも見られます

札幌　下水道科学館　検索



安全・快適を支える人がいる

普段あまり意識することのない暮らしの裏側。見えづらいからこそ、一度目を向けてみませんか。